

第4回 福八子どもとゆく夏合宿無事終了



浜通り子ども16名
中通り子ども17名

応援してくださった皆さん、ありがとうございました。

2015年7月29日から8月3日

浜通り（南相馬・相馬・いわき方面）の皆さん

2015年8月5日から8月10日

中通り（郡山方面）の皆さん

第4回福八子どもキャンププロジェクトの報告と御礼

福八子どもとゆく合宿無事終了！！福島キッズの参加者総勢 33名、子どもたちはのびのびと島の自然と文化を味わいました。応援してくださった皆様、ありがとうございました。この形ではフィナーレとなる第5回夏合宿の準備がすでにスタートしています。どうぞ皆さま、今年の応援もよろしくお願い申し上げます。そして、来年以降に向けて、「福島キッズ！都立八丈高校への進学！！しようよ」計画も同時進行中。応援してくださる皆さま、ぜひ、こちらへのアイディアをお寄せください。

2016度の開催は

前半グループ7月27日～8月1日
後半グループ8月3日～8月8日になります。



3・11 東日本大震災は、この国の姿をすっかり変えてしまったと思う。あるいは、急速に変わりつつあったこの国に貯め込まれてきた歪みを、震災があらわにしてしまったと言ってもよいでしょう。原発事故は、それまでそこに普通に暮らしてきた人びとに、人間には選択不可能な問題をつけました。それは、ありうるかもしれない放射能による健康被害に目をつむって、今暮らしている地域社会の絆を守りこの地に留まる

か、もしかしたらなくて済むかもしれない健康被害を避けるために、これまで築き上げてきた生活のすべてを捨てるかという選択です。後者を選んだ人びとは今も慣れぬ土地での生活に対する心労を抱え、残った人びとは自分たちの土地の復興を信じ励みながらも、放射能という目に見えないまま生活のすべてに忍び込んでくる妖怪に対する不安を押し殺して過ごすことを強いられています。

大人であれば、この惨事、不条理を耐えていくことや乗り越えていくこともできるでしょう。自然災害と違って、原発事故という惨事を招いたことには、私たち皆がいくぶんかずつの責任を負っているのです。しかし、このような社会の矛盾にさらされ、放射能の影響をもっとも鋭敏に長く被っていく子どもに、その責任を負わすことはできません。それにもかかわらず、すでに福島では 100 人を越える子どもが甲状腺癌と診断され手術を受けています。こうした状況のもとに暮らす子どもたちには、放射能の影響を心配せずにのびのびと過ごせる環境を、この社会の責任として提供することが必要でしょう。しかし、このような「保養」はすべて民間に任され、その数は少なく、継続して行うことが今も困難です。

私たち、2012 年の夏から毎年この「福八子どもキャンププロジェクト」で、福島と八丈島の精神保健関係者の協力によって続けてきました。大人たちの不安と葛藤、さまざまに不条理な分断、限られた遊び場、行動の制限の中で暮らす福島の子らに、思いきり自然に触れて遊んでもらってきました。福島の美しく豊かな自然、山々や海が、放射能に汚染されて人間が近づけない土地になってしまっています。八丈島にきて初めて海で泳ぐ子もいて、すぐに潜って鉛で魚を突くようになりました。無人島に渡って海亀やイルカを観る。深山の滝壺に飛び込む。そんな子どもらしい自然な活動を、ここで取り戻してきました。

5 年を予定していたプロジェクトも、昨年すでに 4 年目を終えました。子どもらは、ゲームもディズニーランドもない八丈島に「来年も必ず来る」と言ってくれます。島の人らの歓迎もさることながら、普段の生活のストレスを無意識にも感じ取っているのかもしれません。3 年前に小学生であった子が中学生になり、島に通い続けるうちに、高校は八丈島に進学したいと強く希望する子らもあらわれました。今後は、この子らの希望にどう応えていくかも、福島の親たちと島の人びとが一体となって考えていきます。何よりも、この国ではすでに風化しつつある未曾有の災害を忘れず、君たちのことを気に掛けている人がここにいる、というそのことを伝えることが、この子らにとっては最大の支援ではないだろうかと思うのです。

こうして、この試みは震災支援の一環というだけではなく、無情な権力に対する人びとの抵抗、空洞化していく私たちの社会を再建していく試みへと発展していくのです。 高木俊介

福島のみなさん、今年もおじゃりやれ（いらっしゃい）

今までご支援ご協力くださった皆さん、2016 年も応援よろしくお願ひいたします。

連絡先： 福八子どもキャンププロジェクト事務局（NPO 法人 八丈島ロバの会内）担当・村上 文江

〒100-1401 東京都八丈島八丈町大賀郷 4436-35 電話 090-2490-6138（村上・携帯）FAX 04996-9-5817 MAIL:nobi.nasakejima@gmail.com

代表 高木俊介 (ACT-K 精神科医)

副代表 西みよ子 (NPO 法人 あさがお・福島浜通り)

熊田芳江 (社会福祉法人 こころん・福島中通り)

2015 年度決算報告

支出

現地活動費内訳

活動費	385,513 円
食費	403,868 円
備品・消耗品	52,295 円
車両・燃料	487,824 円
ガス代	13,815 円
整備費	140,000 円
支出小計	1,483,315 円

福八 2015 会計報告

事前活動費 177,761 円

福八現地費用 1,483,315 円

参加児童旅費 813,307 円

支出計 2,474,383 円

収入

口座繰越金 2,382,864 円

今年度寄付金等 1,966,709 円

収入計 4,349,573 円

収支

総支出 2,474,383 円

総収入 4,350,570 円

差引収支 1,876,187 円



詳しくはホームページから [福八 子ども](#) 検索